



評価のポイント

CL-1.看護実践能力：ケアする力 【30-1】急変時の対応と記録（事例）

1. 今回示した急変場面を用い、BLS場面、ALS場面で救命処置をすすめるために必要な人数、職種について考えてみてください。

2. 1で考えた人員と急変時での連携をする上で、どのようなことを意識したら良いか考えてみてください。

急変場面では、「ヒト」と「モノ」と「コト」が入り混じる。

一刻を争う急変場面では、情報が行き交うため混乱が生じやすい。

落ち着いた対応をするためにも、どれだけの人数が必要か、誰がどんな役割を担うべきか、事前にシミュレーションしておくことが望ましい。また、混乱が生じやすい状況下でのコミュニケーションのあり方についても、事前に考えておけると、「いざ」というときの連携に役立つ。